

川 越 百 景

平成24年度選定

地区	No.	名称	場所	説明
本 庁 管 内	1	旧志義町の町並み	仲町	志義町は十カ町の一つで刀鍛冶嶋氏が開いた町といわれます。明治時代は、穀物問屋が立ち並んでいました。中ほどの北側は、伝統的建造物群保存地区になっており、お茶や穀物を商う蔵造りの町並みを形成しています。西側は、妙養寺の門前につながる伝統的な町並みです。
	2	川越商工会議所	仲町	昭和2年に建築された旧武州銀行川越支店。角地を活かした玄関としてのデザイン性と、重量感あふれるギリシャの神殿で使われていたドリス式の列柱が特徴です。
	3	大正浪漫夢通り	連雀町・仲町	蔵造り等の町家建築と昭和初期の洋風建築、大正時代に建てられた木造3階建てのうなぎ屋さんなど、伝統的な町家と近代建築が混在する独特の町並みです。
	4	喜多院の西界隈	西小仙波町1丁目	喜多院の西側には大正時代から昭和初期にかけて红灯の灯る町並みが形成されました。いまでも、当時の特徴的な建築が残されています。また、うなぎ屋も往時のままです。
	5	松江町の教会	松江町二丁目	レンガの教会と親しまれている日本聖公会川越キリスト教会です。旧志義町の東の突き当たりであり、絶好のアイストップです。なお、川越唯一のレンガ造の建築となってしまいました。教会につながる川越街道沿いの旧上松江町にも伝統的な町並みが残されています。
	6	西武新宿線特急小江戸号	新富町1丁目 他	時の鐘と蔵のまち本川越駅発の特急小江戸号は、川越の町をイメージした色彩が施され、市民の誇りともなっています。また、駅舎の複合ビルも、地域の景観に合わせ分節し、川越を意識したデザインとなっています。車両と一体化した憩いのある都会的空間を提供してくれています。
	7	富士見町の川越街道ケヤキ並木	富士見町	仙波小周辺の富士見町のケヤキ並木は、烏頭坂を越えて川越へ入るゲートです。途中にはポケットパークもあり、川越街道の現代のシンボル空間です。
	8	蓮馨寺とその界隈	連雀町	子育て呑龍さまで知られる蓮馨寺は、毎月8日の呑龍デー、春は桜の名所で知られた市民の憩いの場です。旧境内域には、酉の市で知られる熊野神社、芝居小屋の旧鶴川座、昭和初期のモダンな看板建築群が立ち並び、一寸わくわくする界隈です。
	9	旧川越織物市場	松江町二丁目	木綿の一大産地、川越に富と繁栄をもたらした織物産業の証です。広場を挟んで建つ長大な2階建ての長屋状建築は、全国的にも貴重な産業遺産です。
	10	永島家と七曲り	三久保町	城下町の名残の屈曲した細街路の七曲りと、枳殻(からたち)の生垣と草葺が特徴の永島家は、武家地であった南久保町界隈の景観を特徴づけています。
	11	浮島神社	久保町	「うきしま様」と慕われています。この一帯は、元は沼沢地で遠くから見ると島のように見えたことからこの名がついています。セツ釜といわれる湧水や片葉の葦の伝説があり、川越城南の水源を司っています。今は、桜の名所でもあります。
	12	お不動さまと蚤の市	久保町	お不動さまと町から慕われる成田山は、毎月28日に蚤の市が開かれ、川越の風物詩になっています。11月には火渡りも行われます。なお、隣接する久保町は、看板建築と伝統的な町家からなる昭和初期の町並みです。

本 庁 管 内	13	喜多院	小仙波町一丁目	喜多院は、江戸城の遺構である客殿をはじめ、川越でもっとも文化財が集積しています。また、初大師に始まり節分、初梅、桜、菊祭りに紅葉と四季折々に楽しめます。境内にはユニークな姿の五百羅漢、山門前には日枝神社があり、これらが織りなす景観は、川越随一です。
	14	仙波東照宮	小仙波町一丁目	徳川家康を祀った東照宮は、日光、久能山とともに三大東照宮といわれています。将軍家の威光が輝く彩色塗りの社殿は、木立の中に凜としています。
	15	中院の四季	小仙波町五丁目	しだれ桜がみごとな境内は、四季折々の楽しみがあります。また、島崎藤村ゆかりの古刹で、義母に贈った茶室が移築されています。ここから西に向かう赤座の通りも古刹につながる落ち着いた住宅地です。
	16	仙波氷川神社と富士見橋	仙波町四丁目	台地の縁に立地する境内は、豊かな緑がランドマークです。また、富士見橋はコンクリートで造られたアーチが美しい昭和初期建造の橋です。
	17	仙波河岸史跡公園と愛宕神社	仙波町四丁目他	河岸場の遺構を中心とした公園は、水と緑の憩いの場です。また、愛宕神社は、公園と一体になった古墳で、足元には湧水があります。なお、新河岸川をたどって新扇橋にかけては、菜の花がきれいです。橋からは、川越の町を望めます。
	18	初山と浅間神社	富士見町	古墳の頂きには、浅間神社が祀られています。そこで行われる初山は赤子の成長を祈る川越の風物詩です。
	19	三変稲荷神社古墳	小仙波町四丁目	川越で最も古いとされる古墳は、木々が地域のランドマークとなっています。すぐ東には、櫻が目印の龍池弁天が祀られており、その下からは水が湧き出しています。ここは、仙芳仙人の伝説が残ります。
	20	仙波氏館跡と新河岸川	仙波三丁目と大仙波周辺	平安末から鎌倉時代の地頭である仙波氏の館にあった持仏堂が基とされる長徳寺は、田園地帯から臨めるランドマークです。また、ここから見晴らす新河岸川は、桜と菜の花が同時に満開を迎える名所です。
	21	川越女子高校の桜並木と六軒町のカトリック川越教会	六軒町一丁目	数多くの卒業生を送り出した川越女子高では、空を覆わんばかりの満開の桜が、アーケードとなって新生を迎えてくれます。六軒町の教会と親しまれるカトリック川越教会は、桜の花も女子高から連続し、尖塔がシンボルの教会堂と一体となって景観をつくっています。
	22	出世稲荷神社の大イチョウ	松江町一丁目	いちよう窪という地域の愛称も生まれた川越のシンボル樹です。足もとには通称出世稲荷が鎮座しています。
	23	八幡神社と年中行事	南通町	都心部に貴重な緑を提供している八幡様は、四季折々の様々な行事が川越の風物誌になっており、多くの市民から親しまれています。なお、西参道につながる八幡通りは、近年、魅力的な商店街に変身しつつあります。
24	小江戸蔵里	新富町一丁目	酒造りの醸造蔵群を活かした施設で、白壁の蔵が特徴です。また、道沿いの楠もみごとで、牛窪家とともにクリアモールから歴史的エリアに入るゲートとなっています。	
25	旧六軒町郵便局とその界隈	田町他	永らく郵便局として使われてきた瀟洒な洋館は、建物のイメージにあったレストランとして使われています。入間川へ向かう古くからの街道に面しており、周囲の伝統的建物とともに、川越の町への出入口を示す景観です。	

本 庁 管 内	26	蔵造りの町並み	幸町他	明治の大火をくぐり抜けてきた大沢家を代表とする蔵造りの町並みは、川越を象徴する景観です。ここでは、郵便局やポスト、公共建築も蔵造りに合わせて建てられています。また、川越祭りをはじめ、唐人揃いやライトアップなどここを舞台としたイベントも数多く開かれています。
	27	札の辻界限	元町一丁目他	川越の御城下の町割の起点です。それぞれの角にはポケットパークや町家がとり囲み、象徴的な空間です。
	28	旧八十五銀行本店本館 (埼玉りそな銀行川越支店)	幸町	建築家保岡勝也設計による銀行建築です。埼玉県最初の銀行は、大正7年にこの本店を建てました。川越のランドマークであり、経済界の象徴です。
	29	時の鐘	幸町	川越のシンボル。日本の残したい音風景百選の一つです。いまも一日4回時を告げています。また、足もとの商店街も整備され、石畳に鐘の音が響き渡ります。
	30	広済寺と喜多町	喜多町	山門や鐘楼、市指定文化財の金毘羅堂などが伽藍を構成しています。庫裏の脇のボタンの古木も見事です。この周辺は、明治の大火を免れた町家や見事な桃の花のある芸者さんが歩いた小路など、一味違った伝統的な町並みが見られます。
	31	菓子屋横丁	元町二丁目	昔なつかしい駄菓子屋が立ち並ぶ通りです。今でも飴を手作りしている店もあり、ほのかに漂う甘い香りは、環境省のかおり風景100選に選ばれています。
	32	寺町通りとその界限	末広町二丁目他	養寿院、行伝寺、長喜院と、蔵造りの町並みの西は寺町を形成しており、小路のアイストップになっています。そして、それらを結ぶ石畳が人々を誘います。南の入口には、もろみのかおり漂う醤油の醸造蔵と烏山神社があります。
	33	川越城跡	郭町二丁目	17万石を誇った川越城本丸の玄関と大広間の雄姿には桜の華やかさが似合います。城内には、とうりゃんせの発祥といわれる三芳野神社や天守閣の代わりに富士見櫓の跡もあります。
	34	川越市立博物館と美術館	郭町二丁目	お城の御殿と蔵づくりをイメージした建物は、白い壁が特徴です。川越城の二の丸に建てられており、川越の歴史研究や芸術の中心です。
	35	川越氷川神社	宮下町二丁目	川越城下の総鎮守、川越祭りはこの神社の祭礼です。社叢に囲まれた本殿は、精緻な江戸彫りが特徴です。また、江戸城東照宮の遺構といわれる八坂神社もあります。朱塗りの木造大鳥居はランドマークとなっています。
36	川越まつり	幸町他	川越の歴史的風致を代表する華麗なる伝統行事です。一番街の川越祭り会館では、一年を通して祭を体感できます。	
37	東明寺、河越夜戦跡と門前	志多町	小田原北条氏と上杉氏が戦った日本3大夜戦の一つ、河越夜戦の古跡です。境内の銀杏の巨木がランドマークになっています。門前には、志多町の伝統的な町並みが残ります。	

本 庁 管 内	38	新河岸川(田谷堰から宮下橋にかけて)	氷川町他	田谷堰から宮下橋にかけての新河岸川は、川面に映る桜のアーケードです。春祭りに行われる舟運は、格別の趣で、夜も幻想的な世界を醸しだしています。
	39	ヤオコー川越美術館	氷川町	地域景観に違和感なく溶け込む完成度の高い現代建築です。
	40	旧赤間川の光景 (田谷堰から赤間川公園にかけて)	宮元町から末 広町三丁目 にかけて	田谷堰から赤間川公園にかけては、かつて赤間川と呼ばれた城下の縁辺をめぐる河川です。デザインされた欄干と櫓がシンボルの道灌橋、東明寺橋から上流は、岸辺を散策できます。坂下橋には濯紫公園があり、高澤橋のもとには六塚稲荷があります。赤間川公園は子供たちに人気の親水公園です。
	41	川越高校のくすのき	郭町二丁目	川越高校の文化祭の名前にもなっているシンボル樹です。市民会館からの坂道の正面にあり、アイストップになっています。
	42	石原のささら獅子舞、観音寺と本応寺	石原町一丁目	観音寺や本応寺を中心に舞われる由緒正しい獅子舞です。隔年で元町2丁目へと高澤橋を渡ります。
	43	川越の料亭群	幸町他	川越の北部市街地では、脇道に入ると庭を持つ和風の料亭が数多くあり、表通りとはまた異なった顔を持っています。中でも山屋は、自然の趣を演出した庭園と座敷が一体化した代表的なものです。
	44	川越の昭和モダン 太陽軒	元町一丁目 他	ピンクの壁と幾何学文様の窓や扉をもつこの洋食屋さんは、昭和初期のモダンなかおりを漂わせており、往時のカフェの様子を偲ばせてくれます。ここには映画館などもあり、町に独特の雰囲気を与えています。
	45	江戸道の起点、百丈と旧江戸町	元町一丁目 他	3階建ての看板建築は、粋なデザインで市役所周辺のシンボルです。ここは江戸への起点で、伝統的な町並みも見られます。
	46	レトロバスの走る風景	幸町他	ボンネットが特徴のレトロなバスは、伝統的な町並みに溶け込んでいます。また、駅前の近代的な町並みにもぴったりの、センスが光る公共交通です。
	47	栄林寺のしだれ桜	末広町一丁目	静かな境内に咲くしだれ桜は、背後に本堂を従え、川越城の遺構といわれる山門を通して見える姿が象徴的です。
	48	中成堂歯科医院	幸町	江戸時代、町同心がいたこの通りは、表通りと異なる住宅地です。その中でも印象的な洋館です。
	49	旧山崎家別邸	松江町二丁目	老舗菓子商亀屋の別邸として建てられました。建築家保岡勝也の設計による繊細な住宅と庭園が見事です。
	50	クリアモール	新富町一丁目 から脇田町	電線の無い石畳のモールは川越の誇るセンター街で、いつ行っても賑わいがあり楽しい商店街です。デパートの屋上の遊園地も楽しさを倍加させてくれます。その様な中であって、クリアパークはオアシスです。

本庁管内	51	烏頭坂と熊野神社	岸町二丁目	烏頭坂は、川越城下に入る難所の急坂です。斜面には豊富な緑を誇っています。坂の上にある熊野神社も桜の名所で、市民の憩いの場です。
	52	新宿氷川神社(雀の森)	新宿町一丁目	開発が進む中、雀の森とよばれる境内の豊富な緑が貴重です。境内社の浅間社のお焚きあげも有名です。なお、本殿は、江戸彫りが見事です。
	53	小ヶ谷のさくら堤と田面澤	小ヶ谷	入間川の堤防上に築かれた西裏公園は花見のスポットです。中心市街地からは、広々とした田園を抜けてきます。この周辺には、かつての田面澤駅の名残のレンガの橋台や川越の歴史をモチーフとしたデザインの川越橋、富士山がきれいな初雁橋などの見どころもあります。

芳野地区	54	伊佐沼	伊佐沼	春の湖岸の桜並木、夏の蓮、冬枯れの伊佐沼公園と四季折々に楽しめるとともに、野鳥など自然の宝庫です。北岸には、茅葺の伊佐沼薬師神社があります。
	55	笹原門樋のある光景	鴨田	この門樋は、煉瓦造りで小尖塔を持った最も整った形をしています。ここに流れる八幡川沿いには長い参道を持つ八幡神社があります。
	56	菅間緑地と水田地帯	菅間	川越の東北に位置する広々とした水田です。その東に位置する菅間緑地は、旧家の屋敷地を活かしたビオトープです。
	57	舟塚	上老袋	6世紀ごろに築造されたと推定される舟塚は、入間川流域が開かれていった歴史の証です。水田地帯にあって古のまほろばを感じさせる森です。
	58	芳野台のハナミズキ並木	芳野台	春の工業団地のメインストリートを彩るハナミズキの並木は、工業団地の歴史とともになくてはならない景観に育ってきました。

古谷地区	59	灌頂院	古谷本郷	平安時代の創建とされる当院は、古尾谷八幡神社の別当でした。平安仏をお守りする威厳ある寺院です。
	60	古尾谷八幡神社とほろ祭	古谷本郷	古谷、南古谷地区13ヵ村の総鎮守の社殿は、県の文化財です。また、ほろ祭は、元服式の印象がよい古い神事です。
	61	入間川と荒川の合流点 (上江橋から荒川鉄橋にかけて)	古谷上	上江橋からJRの荒川鉄橋にかけては、入間川と荒川が絡み合う雄大な河川景観を見せてくれます。また、それぞれの橋からは、秩父の山並みを背景に川越の市街を一望できます。なお、荒川鉄橋は、構造美を見せてくれます。
	62	下老袋の氷川神社と古谷地区の水塚	下老袋を中心とした古谷地区	民俗行事の豊富な氷川神社は、地域の核となっています。また、水防対策として屋敷地を土盛りした水塚(みづか)は、法面の草花が美しい集落景観です。
	63	小中居神明神社	小中居	小中居の集落の鎮守です。西から見ると、こんもりとした境内林が水田に浮かび、それに連なる屋敷林との光景は、日本の水田地帯の典型的風景です。
	64	古谷から南古谷に広がる田園風景	古谷から南古谷地区	古谷地区から南古谷地区に広がる水田は、建物一つない広大な農地です。東京の近郊にありながらも、農業の盛んな川越の風景です。時にはかかしの立ち並ぶ時もあります。

南古谷地区	65	東邦音大記念堂	今泉	大学の歴史を語るシンボルである貴重な木造校舎です。一方、キャンパス内は、川越景観表彰を受賞した対比的な現代建築群です。
	66	蓮光寺	渋井	新河岸川に面して建ち、山門の周りには、ケヤキの大木が並びます。対岸のふじみ野市と一体となった自然豊かなお寺です。堤防上には桜が植えられ、大きく育った将来が楽しみです。
	67	荒川や入間川が作り出した自然—びん沼、萱沼、はいだわら	中老袋から萱沼にかけて	荒川や入間川が昔流れていた所が、流路がかわり取り残されました。今では、木々と水面が形づくる自然豊かな景観です。荒川は古谷や南古谷地区にびん沼や萱沼を残し、北に位置するはいだわらは古い入間川の名残です。
	68	奥貫家の長屋門	久下戸	構え堀をもつ名主屋敷の長大な長屋門です。門の脇に立つ屋敷林の楠も立派です。奥貫家は、寛保の大水害の時、私財をなげうって罹災者の救済を行いました。
	69	並木のクス	並木	来歴は詳らかではありませんが、遠くからは小山とも見まごうばかりの巨樹です。
	70	久下戸氷川神社	久下戸	豊かな境内林に朱に塗られた社殿が対比的です。寛保の水害の歴史を刻んだ灯ろうが奉納されており、地域の歴史の証人です。

高階地区	71	新河岸の河岸場跡周辺	下新河岸他	川越へ富をもたらした新河岸川舟運の河岸場跡と建造物群。春の川岸は、菜の花が満開で、舟遊びも行われます。
	72	寺尾の日枝神社	寺尾	寺尾の台地の縁辺に位置し、参道は鬱蒼とした森になっています。その昔、寺尾城の物見の代わりをしたという伝説の大かやが近くにありますが。
	73	寺尾調節池	寺尾	新河岸川の治水のためにつくられたこの調節池は、住宅地の中にあって1年を通じて自然が感じられる場所です。堤防上は、ジョギングやウォーキングなど地域に親しまれています。冬には家々の屋根越しに富士山も望めます。

福原地区	74	福原の雑木林	下松原他	川越南文化会館の南に広がる森は、武蔵野の光景を代表する雑木林です。「森のさんぽみち」が整備され、自然に触れ合う事ができます。特に新緑の季節は、森が輝きます。
	75	福原 下赤坂の集落周辺	下赤坂他	江戸時代に、新田開発として開拓された当地区は、雑木林の里山と畑が織りなす武蔵野台地の典型的な田園風景です。
	76	今福の明見院としだれ桜	今福	安永年間(1772-1780)に中院から苗を移植したと伝えられるしだれ桜は、樹齢200年を超える古木です。春に咲き乱れる様は、地域のシンボルにもなっています。
	77	砂久保の集落と稲荷社	砂久保	生け垣や屋敷林が美しい集落です。神社が格好のアイストップになっています。なおこの周辺に、河越夜戦の時、上杉側の陣場が建てられたと言われています。

大東地区	78	川越水上公園と池辺公園	池辺	海なし県に貴重な水の総合レクリエーションの場であるとともに、春の桜、秋のメタセコイアやイチョウなど四季折々の市民の憩いの場です。池辺公園も自然豊かな入間川右岸の公園です。また、この周辺からの入間川から見た富士山も絶景です。近くには廃線になった安比奈線の施設が残り哀愁を誘います。
	79	山王塚	大塚新田	入間川右岸の台地上に、7世紀に築かれた東日本有数の上円下方墳です。現在は木々が生い茂り、まるで小山のようです。
	80	西福寺と餅つき踊り	南大塚	南大塚の西福寺の境内で行われる伝統行事です。臼を引きずりながら隣の菅原神社に向います。成人を祝って行われるユニークな餅つき行事です。
	81	小江戸川越マラソン	池辺他	親子で参加できるファンランから本格的なハーフマラソンまで、様々な人が楽しめます。ボランティアスタッフや応援する市民も高評価。伝統的な町並みを駆け抜けるこのマラソンは、川越市が誇る一大スポーツイベントです。
	82	豊田本の集落—薬師堂と善長寺	豊田本	集落の東にある薬師堂は、四季に朝晩にそれぞれ存在感をしめす里の御堂です。また、善長寺は古代蓮の名所です。集落の周囲には、古くからの田園風景が見てとれます。
	83	川越狭山工業団地	南台一丁目他	この団地の造成が、県内有数の工業都市となるきっかけとなりました。街路樹が育つとともに、デザイン性の高い工場も増えてきました。西武新宿線を利用した時、川越に戻ったとを感じる瞬間です。

霞ヶ関地区、霞ヶ関北地区	84	御伊勢塚公園と小畔水鳥の郷公園	伊勢原町3丁目他	小畔川を挟んで造られた修景池と信仰や伝説をモチーフとした公園で、桜の季節はおいせ橋通りも含め見事です。周囲には、ケヤキやハナミズキの並木道もある成熟した住宅団地が広がっています。
	85	尾崎神社	笠幡	神社の参道は、常緑樹が生い茂り森閑としています。芳地戸のふせぎは、神社で祈禱をした後に村を回りますが、古式をよく残しています。
	86	小畔川左岸の笠幡地区	笠幡	段丘沿いに連なる集落は、前面に田を背後に屋敷林をいただき日本の田園風景を残します。
	87	延命寺とその界限	笠幡	参道を彩る桜が地域の憩いとシンボルです。その足元の集落も昔ながらの様相を偲ばせてくれます。
	88	安比奈親水公園	安比奈新田	入間川の河川敷を利用した広大な公園です。四季折々の自然の体験だけでなく、さまざまなレクリエーションも楽しめます。夏には花火大会も開かれます。
	89	霞ヶ関カントリー倶楽部	笠幡	埼玉県初、昭和4年開設の名門ゴルフ場です。ワールドカップの前身カナダカップや日本オープン、日本女子オープンなどを開催してきました。川越市のステータスとなっています。クラブハウスは建築家岡田新一の設計です。

名細地区	90	こもれびの道のある東洋大学キャンパスと鎌倉街道	鯨井	自然豊かなキャンパス内の散歩道は地域にも開かれています。校舎群は、それと対比的な現代建築です。 キャンパスの東に連なる市民の森には、鎌倉街道が残っています。
	91	河越氏館跡と常楽寺	上戸	国の史跡になっている有力な鎌倉武将の館跡とその持仏堂から発展した常楽寺です。境内には、河越太郎重頼や大道寺政繁の供養塔もあります。
	92	上戸日枝神社と桜	上戸	上戸、鯨井、的場の鎮守は、往古に思いをはせる桜の名所です。
	93	鈴木園	上戸	現在、狭山茶と呼ばれる埼玉県西部でつくられるお茶は、河越茶が起源とされています。この茶畑と民家は、それを思い起こさせてくれます。
	94	小堤の八幡神社とふるさとの森	小堤	鬱蒼と茂る斜面の森は、遠くからも良くわかります。麓には湧水がコンコンと湧き出ており、地域の憩いの場になっています。
	95	下小坂の大けやき	下小坂	市の天然記念物に指定されている2本のけやきの巨木は、遠目にもその大きさが分かります。
96	入間川の土手風景(平塚橋から入間大橋にかけて)	平塚から下老袋	平塚橋から入間大橋周辺にかけての入間川の土手は、春には菜の花が咲き誇り、秋には曼珠沙華が朱に染めます。この間は、サイクリングロードで結ばれており、河川と田園がおりなす雄大な風景を楽しめます。	

山田地区	97	福田のしし舞-赤城神社と星行院	福田	赤城神社と星行院を中心に、福田の集落を練り歩く天王さまの伝統行事です。福田の農村風景に根ざしています。
	98	藤宮神社と筒がゆ神事	石田	1月15日の未明に行われるその年の作況と天候を占う神事です。 しし舞も4月、7月、10月の3回行われています。
	99	寺山用水沿いの田園風景	山田他	山田の浄国寺から東の石田本郷に延びる直線的な道筋には、脇に寺山用水が流れ、四季折々の草花が気持ちいい道です。この沿線には、八幡神社や藤宮神社などもあります。
	100	八咫神社と上寺山の獅子舞	上寺山	集落の北に位置する八咫神社に奉納される獅子舞は、紀元はつまびらかではありませんが、三頭立てで地域によって守られ続けてきました。

